



患サポ通信

—ささえちゃん便り—

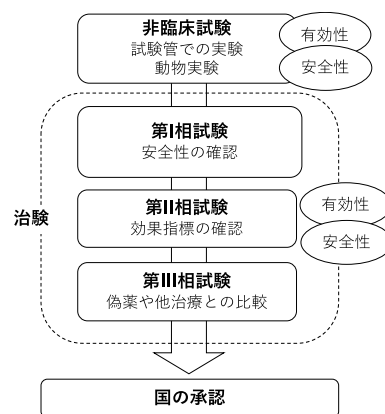
第96号



臨床研究センターより治験に関するお知らせ

病院で使用では様々な種類のお薬が使用されます。新しい薬剤が使われるようになるためには、本当にその薬剤が効くのか、また、安全性に大きな問題はないのか確認する必要があります。今回はワクチンを例に、お薬の開発についてお話したいと思います。

まずはワクチンの候補物質について、試験管での実験やマウスや猿などの動物実験によって安全性と有効性が検討されます。一定の基準をクリアすると、人に対して治験が行われます。治験は大きく分けて3段階あり、第I相試験から第III相試験まで順に実施されます。第I相試験は、主に安全性の評価を目的として少人数の人を対象に副作用の程度を評価します。第II相試験は、もう少し多くの人を対象として、抗体価の上昇を確かめることで、予防効果を得られる可能性を探り、最も適切な投与量を検討します。第III相試験では、更に多くの人に対し実薬が偽薬(プラセボ)のどちらかをランダムに振り分けて投与し比較することで、本当にワクチンによって感染や重症化を低下させることができるのかを公平に評価します。新型コロナウイルスのワクチンも、このような過程を経て承認され、感染予防効果に寄与し、パンデミックの封じ込めに重要な役割を果たしています。



当院では、患者さんと共に新しい治療や医療に貢献するため、様々な薬の治験を実施しています (https://www.fmu.ac.jp/home/clinical_r/cat-patients/patients4/)。また、治験以外の臨床試験も行なっています。臨床研究センターの臨床研究コーディネーター(CRC)は、治験や臨床試験に対する様々なサポートを行なっていますので、安心して気兼ねなくご相談いただけますと幸いです。

福島県立医科大学附属病院 臨床研究センター

部長より年度末のご挨拶

コロナ禍に加え自然災害による診療制限のなか、当院および広域での適切な医療体制継続のため、皆様これまで以上のご協力・ご支援をいただいた年でありました。

コロナ禍で肉体的に精神的にも厳しい状況が続いていますが、少しでも温かい気持ちとなれるよう「顔の見える関係」を大切にし、医療連携を進めてまいります。

福島県立医科大学附属病院 患者サポートセンター 門馬智之

ご相談は下記まで

TEL: 024-547-1771(平日 9時~17時)

E-mail : chicken@fmu.ac.jp